

(令和4年度入学者用)

## カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）（夜間主コース）

香川大学経済学部は、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を育成するために、全学共通科目（28 単位以上）と学部開設科目（96 単位以上、内訳は、学部基礎科目（6 単位以上）、コース専門科目（66 単位以上）、自由科目（20 単位以上）、演習Ⅰ（4 単位））から構成される教育課程を編成・実施します。3年次に演習Ⅰを履修するためには、所定の科目を30 単位以上修得していることが条件となります。卒業要件単位数は124 単位以上とします。

本学部の教育体制の主な特徴は、1) 広く社会人及び勤労青年を対象とする生涯学習並びにリカレント教育を重視すること、2) 新しい時代や社会の要請に対応するため、関心のある専門知識を深めること、3) 個々の学生のニーズに応じて関連分野の科目を広く選択・受講できるように配慮していること、4) 昼間コース開講科目の履修を可能とするとともに、放送大学との単位互換制度を導入し、社会人学生の勤務時間を踏まえた修学に利便性を提供することにあります。

経済学部では1年次から4年次の間に各自の履修計画や目的に応じていつでも履修できるような科目配当がなされています。

1年次ならびに2年次は、全学共通科目と学部基礎科目を中心に学び、自分の興味や関心を探求し視野を広げるとともに、経済学・経営学・会計学全般に関する基礎知識をしっかりと学修します。また、より専門的で実践的なコース専門科目を選択して履修することで専門知識を広げていきます。3年次は「演習Ⅰ」、4年次は「演習Ⅱ」・「卒業研究」を履修し、専門的な学修を深めながら、課題探求・問題解決能力を高めていきます。なお、カリキュラム・ポリシーに関する教育課程については、カリキュラムマップを用いて詳細に明示しています。

学修成果の評価は、基本的に講義科目では修得した知識の理解度で、「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」では専門分野に対する習熟度と研究活動に対する取り組み姿勢で、「卒業研究」では研究内容や様式などについて教員毎に示された単位認定方針に沿った総合評価で実施し、厳格な成績評価（5段階評価、GPAの活用）で行います。令和4年10月1日以降は、シラバスに記載している方法によって、各授業科目の到達目標の達成度で評価します。